

「新西宮商工会館」のご案内

輝くひとづくり ものづくり ことづくり まちづくり
～西宮の企業を育て産業の未来を拓く～

新西宮商工会館の概要

所在地：兵庫県西宮市櫛塚町2-20
敷地面積：1,619.30㎡
建築面積：560.93㎡ (地下倉庫を含む)
延べ床面積：1,948.75㎡ (駐輪場、地下倉庫を含む)
構造・階数：新西宮商工会館…鉄骨造、地上4階
地下倉庫棟…鉄筋コンクリート一部鉄骨造、
地下1階・地上1階

完成までの日程

令和3年3月：旧西宮商工会館の解体着手
令和3年8月：新西宮商工会館の建設着手
令和4年3月：完成

旧西宮商工会館の紹介



旧西宮商工会館が竣工したのは、昭和41(1966)年のこと。著名な建築家である村野藤吾氏が設計者の代表を務めました。当時、多くの人々が見学に訪れました。

平成7(1995)年の阪神・淡路大震災により、ピロティと大ホールのあった2階建ての別館は全壊したものの、コンクリート打放しの柱と赤褐色の壁が特徴の本館は今日まで残りました。新西宮商工会館では本館の外観デザインを一部継承しています。

なお、旧西宮商工会館につきましては、模型や映像、写真を後世に残すことで、人々の記憶にとどめるようにいたします。

 **西宮商工会議所**
Nishinomiya Chamber of Commerce and Industry

〒662-0911 兵庫県西宮市池田町9-7 フレンテ西館3階(仮移転先)
TEL:0798-33-1131 FAX:0798-33-3288

 **西宮商工会議所**
Nishinomiya Chamber of Commerce and Industry



● 新西宮商工会館の特徴

人々が集い、学び、交流する中で、西宮の新たな時代を拓く拠点へ。

西宮市櫛塚町の旧西宮商工会館の跡地に建設する新西宮商工会館。
令和4(2022)年3月の完成をめざして、建設が着々と進んでいます。
「地域とともにある」をモットーに、今後、商工会議所の新たな活動拠点として
皆様のお役に立つよう努めてまいります。

新西宮商工会館の特徴

01

安全・安心な施設

地震や水害などのあらゆる自然災害に備える施設とすることで、利用者の安全・安心に配慮しています。

02

商工業者が集い交流を促進できる施設

大人数が集うことができる地域交流センターや会議室などを配置し、多彩なイベントや行事ができる施設とします。

03

起業・創業をめざす人々を応援する施設

起業家支援センターを設けることで、だれもが必要に応じて経営指導や専門家の支援を受けられる体制を強化します。

04

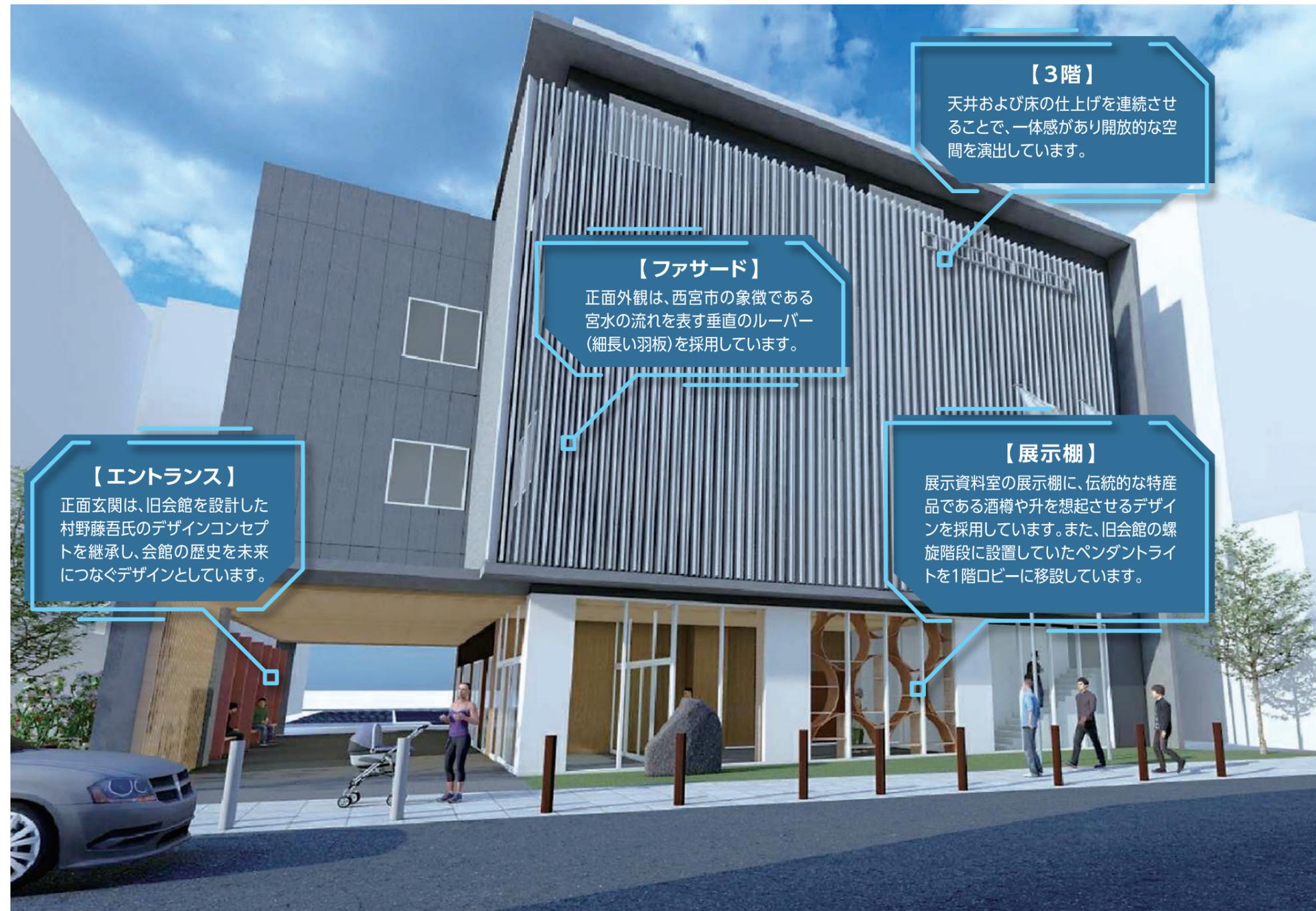
地域の人々との交流を推進する施設

地域交流センターを定期的に地域に開放することで、地域の人々が取り組む多彩な活動に協力、支援していきます。

05

一層の産学連携が図られる施設

市内の大学との包括連携協定を踏まえて、人づくりやまちづくり、市民生活の充実や産業の振興などについて、大学と市内企業の産学連携活動の一層の強化を図っていきます。



●各階の概要

コンパクトで効率的、機能的な商工会館をめざしています。

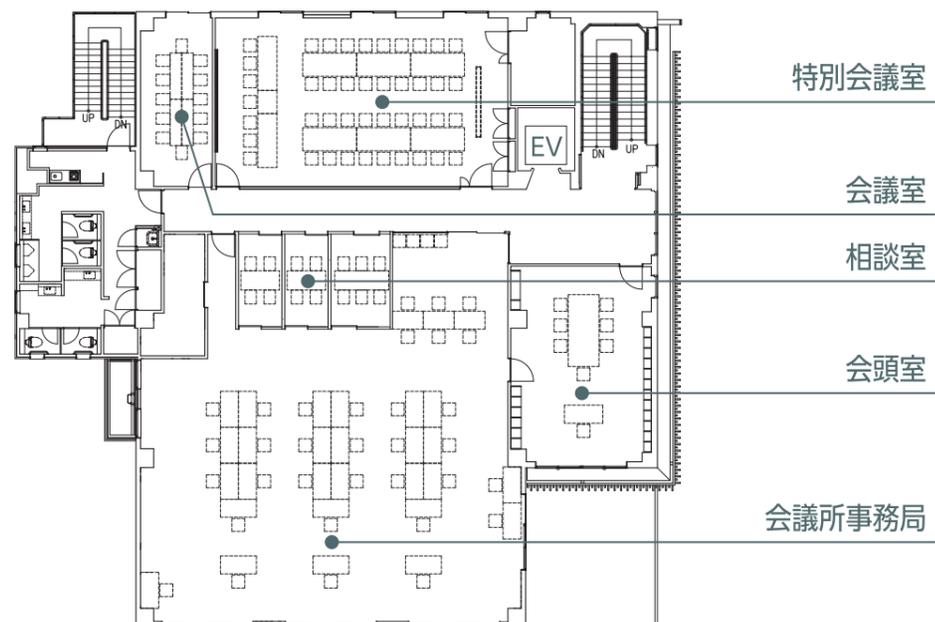
1F

地域交流センターなどを通じて、
多くの人々が集い、交流できる空間です。



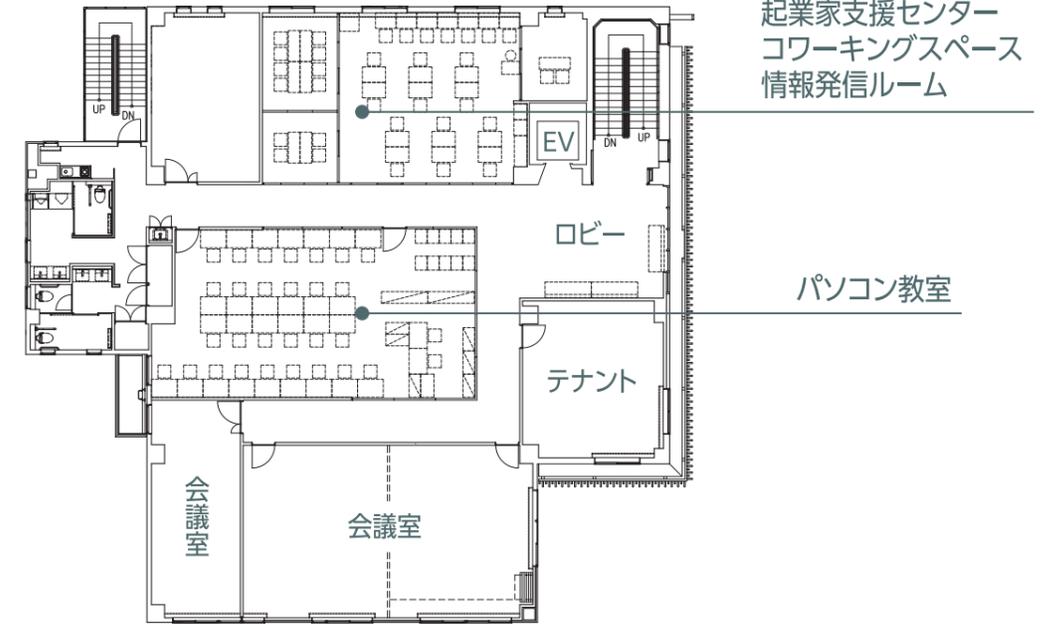
2F

会議所事務所などを設け、
会議所の活動の拠点となります。



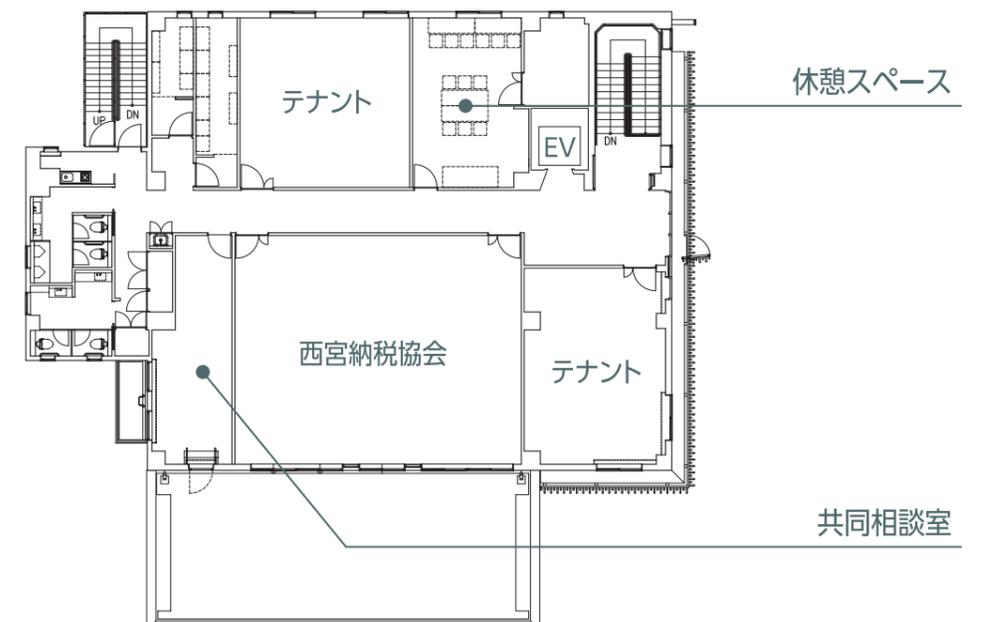
3F

起業家支援センターなどを通じて、
起業・創業をめざす方々をサポートいたします。



4F

会議所の活動に深く関連した
諸団体が入居するスペースです。



新たに起業家支援センター、地域交流センターを整備し、地域との共創による活動を展開していきます。

主なスペースの紹介

1F 地域交流センター

地域活動を支援する施設。講演会やセミナー、地域マルシェなどの催事などの実施を予定しています。また、地域・福祉団体の利用や、芸術活動での利用も想定しています。

1F 展示資料室

会員企業様の商品の展示をはじめ、芸術・文化の作品展示の利用も想定しています。

2F 特別会議室

常議員会や委員会、部会などの交渉や活動の場として活用するほか、会議やセミナーの開催も予定しています。

2F 会議所事務局

会議所の業務を遂行するとともに、会員企業様の経営の支援や地域の活性化を行います。

3F 起業家支援センター

起業をめざす人をサポートする施設。経営指導員など専門家の助言を受けることができます。また、セミナーや交流会、コワーキング、情報発信、テレワークの場として利用が可能です。

3F パソコン教室

事業所の社員および市民向けのパソコン教室を開講します。

4F 共同相談室

技術士会などの団体が開催する技術相談、社会保険労務士が開催する労務相談など、専門家による経営相談の場として利用します。

■ 災害に強く、未来につながる会館をめざして

新西宮商工会館の建設の基本コンセプトは、「想定される自然災害に対する備えを有するとともに、市内商工業者が集い交流すること、地域の人々との交流を推進すること、一層の産学連携を図ること」です。

また、多くの会員や来訪者が利用する日常的な活動・交流の場であるため、自然災害に対応し、来館者が安全・安心して快適に利用できる会館をめざすとともに、省エネ、地球温暖化等に配慮した管理運営に努めます。

■ 産学連携における大学生のアイデアを採用

西宮商工会議所では、大手前大学や武庫川女子大学と包括連携協定を締結し、人づくりやまちづくり、市民生活の充実や産業の振興などについて大学と市内企業の産学連携活動を展開しています。

今後、新西宮商工会館の起業家支援センターなどを活用し、若者の起業家育成も含めて、市内大学との新たな産学連携を推進していきます。

■ 車で来館される方の利便性を向上

建物面積をコンパクトにすることで、駐車・駐輪スペースを旧西宮商工会館よりも広く設けました。駐車スペースは、全面平面として31台分を確保し、来館者の利便性向上を図っています。

■ 新西宮商工会館の建設開始までの経緯

昭和41(1966)年3月	旧西宮商工会館の竣工
平成7(1995)年1月	阪神・淡路大震災で被災(別館が倒壊)
平成8(1996)年10月	別館を新築復興
平成27(2015)年度	本館の耐震診断(耐震性能で課題が判明)
平成28(2016)年8月	第1回特別委員会を開催。以降、視察調査を複数回実施
平成30(2018)年3月	建設検討特別委員会の設置。 基本構想となる「西宮商工会館あり方」が決まる
令和元(2019)年6月	建設推進特別委員会の設置。基本設計の策定
令和2(2020)年5月	基本設計の完了。11月、実施設計の完了
令和3(2021)年1月	建設工事契約を締結